



第17回きりしまフォトコンテスト【入選】秋霧

# 霧島市 市議会

# だより

## 72

令和5年11月

**特集 Special edition** 公共施設 徹底議論! P2-6

委員会レポート P7-8

行政視察報告 P9

議案審議結果 P10

陳情審査報告 賛否の分かれた議案 P11

一般質問 P12-18

議員と語り P19

きりしまびと 編集後記 P20

### 活躍! きりしまびと

第19回



国分物産館 じょうもん市場  
東 輝実さん (60歳)

### 安心安全な農産物を供給したい

農家と消費者の間をつなぐ者として、「新鮮で安心・安全な農産物をお客様に提供ができることが楽しい」と日々を送る東輝実さんの実家は、旧横川町で代々お客様相手の商売をしていました。幼少のころからレジを打ち、当時の小学校の先生からも「君は計算が速い」と、うならせていたそうです。

1993年の8・1水害で実家の店が浸水の影響により閉店。縁あって奥様の出身地である旧福山町に移住し、福山町のふれあい館で3年半働き、その後、横川町の物産館で1年半勤務しました。ある日、じょうもん市場に農産物を納入する方から「お誘い」があり、店長に就任し現在に至っています。

店内に、「食は命なり」と横断幕を大々的に掲げています。「外国産の農産物がすべて悪いとは思わないが、なぜ日本は国民の食糧を外国にゆだねるのか?このままで、私たち国民の食べ物はどうなってしまうのか心配。農業従事者の高齢化、後継者不足で先が見えない。新規就農者



の強力な育成が必要」と声に力が入ります。「現役子育て中ですが将来を考えると、このままで良いのか、食べることは命を繋ぐことであり、毎日の食生活のあり方が大切」と力説されました。

市政と市民生活は密接しているの思いから、「議会だより」の興味深い記事は、何回も見直しているそうです。「議会だより」は、わかりやすく、見やすくなったとの感想をいただきました。

### 次回▶12月[定例会予定]

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28 本会議 (初日)	29	30	12/1	2
3	4 本会議	5	6 本会議(一般質問)	7	8	9
10	11 常任委員会	12	13 予算常任委員会	14 予算常任委員会 (予備日)	15	16
17	18	19	20	21	22 本会議 (最終日)	23
24	25	26	27	28	29	30

日程は変更になることがあります。詳しくは議会事務局(☎64-0922)にお問い合わせください。

### 今月の表紙



大浪池の山頂には周囲1.9km、水深11mの火口湖があり、「大浪池伝説」が語られる神秘的な場所として知られています。(牧園町高千穂)

### 編集後記

私が議会だよりの編集に携わるようになった直後から、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい始めました。以来、4年間、議会だよりは新型コロナ対策の支援策を数多くお伝えしてきました。新型コロナはひとまずの落ち着きを見せていますが、いまだ、ロシアによるウクライナ侵攻、物価高騰は先の見えない状況にあります。一日も早い平和で安穏な世界の訪れを願うばかりです。

令和5年第三回定例会では、子育て、教育、防災、まちづくりなど、多岐にわたり質疑が行われました。また、ひとり親の子育て世帯等への支援や、売上が減少した事業者への予算案が可決されました。コロナ禍を乗り越え、霧島市が大きく変わる時がきています。

議員は税金の使い道について議論し、議会での可否を最終決定しています。議員報酬にも市民の皆様が使われていることから、議会での活動を広報していくのは当然の責務と考えています。編集作業は時に思考停止に陥ることもありますが、今や多くの議会が「霧島市議会だより」の視察に訪れるようになりました。次号からは、新メンバーの編集となります。さらに良き誌面となることを期待ください。

(鈴木 てるみ)

